



令和5年度 茨P連 スローガン

いちごいちえ

一 互 一 笑

～PTA活動を通して学校・家庭・地域が一つになり、子どもたちと一緒に笑顔になる

令和5年度茨城県PTA連絡協議会 会長 草地学

PTA活動で私が大事にしている言葉をご紹介します。最初に出会った言葉は「子育ては二度無し」です。今この時は二度とない、今を楽しみながら大事することを改めて考えることができた言葉でした。

また、PTA活動では多くの人と出会い、協力していく場面が多くあります。その際に私が大切だと感じた言葉に「まずは、顔合わせ、次に心合せ、最後に力合わせ！」があります。そして、それは、今年のスローガン「一互一笑(一期一会)」へとつながっていきます。PTAはボランティア活動です。その時だけの仲間がこれからの仲間につながることをPTA活動だと思います。「100点じゃない、70点でいい」そんな緩さも大事です。楽しいPTA活動をとおして、笑顔に、そして今を楽しんでいきましょう！

(略歴) 中小路小学校 PTA 会長[平成28～30年度]、日立市小・中学校 PTA 連合会会長[令和2～3年度]

茨城県 PTA 連絡協議会副会長・茨城県県北地区 PTA 連絡協議会会長[令和4年度] 日立市在住



茨城県 PTA 連絡協議会 役員紹介

(前列左より) 副会長 大芝 静香(学校長会)

会長 草地 学(日立市)

茨P安理事長 小野 智久(日立市)

(後列左より) 副会長 米川 和徳(鉾田市)

副会長 安達 光一(桜川市)

副会長 萩谷 直美(守谷市)

副会長 長谷川 孝夫(石岡市)

副会長 塚本 克久(水戸市)

副会長 中島 裕信(日立市)

令和5年度 重点活動

○組織のメリットを生かして

- 単P・市町村Pが困っている課題などを吸い上げる仕組みを設け、茨P連が茨城県内の会員を代表する組織であることを再認識し、県教育委員会や県の行政や議会などと協働で問題の解決に向けて取り組む。

○次の時代を見据えて

- 現在の茨P連の事業および委員会活動についての見直しを行い、スリム化を行った上で「今必要な事業・活動」を行えるようスクラップアンドビルドに取り組む。

○より輝く単P活動へ

- 単Pの活動がより活性化できるように、茨P連に新たな事業や仕組みづくりを行う。

4年ぶり！ 令和5年度総会を実施しました 6/4(日)@笠間市笠間公民館



令和5年度茨城県PTA連絡協議会定期総会および(一社)茨城県PTA安全互助会定時社員総会を開催しました。開会行事では、茨城県教育委員会の森作教育長様よりご祝辞をいただき、多くのご来賓の皆様にもご出席いただきました。講話では「茨城県における部活動の地域移行の最新情報」と題して、県教育庁学校教育部保健体育課競技スポーツ・部活動地域移行担当課長補佐の野友様より講話をいただきました。講話の合間にGoogleフォームを使って、会場参加者の疑問点などを丁寧にご説明いただき、情報を共有する場を設けることができました。総会では、209名が出席し令和4年度の事業報告・決算、令和5年度役員・事業計画・予算等の議案がすべて可決・承認されました。総会開催にあたり、運営にご協力いただきました令和4年度の役員・理事の皆様、そして単Pの総会から多くの総会に出席をいただきましたすべての皆様にご感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

お疲れ様でした！ 前会長 畠山佳樹さん [在任期間/令和2～4年度]

皆様、茨城県PTA会長として3年間大変お世話になりました。この3年間は、県でも市町村でも各単位PTAでも、PTAの活動意義をそれぞれが見つめ直したことと思います。

私は、大げさかもしれませんが、“PTA活動とは、子どもたちの未来を豊かにするための活動”だと定義しました。その実現のため、日本PTAにおいては令和5年度も茨城県代表者として、引き続き組織改革を推進してまいります。全国760万会員のスケールメリットを生かして、子どもたちのために社会を動かす日本PTAになるように、粉骨砕身努力してまいります。今後ともよろしく願いいたします。



茨P連「愛の記録」FM放送のご案内

子育てをとおしての体験や気持ちをつづる家庭教育実践事例集「愛の記録」について、昨年度からFM放送での朗読番組がスタートしました。7月より放送局が増えることとなります！ぜひ、皆さんラジオやアプリでご視聴ください。



[放送日] 毎週土曜日 12:21～



※初回放送は、7/4(火) **予定**

[放送日] 毎週火曜日 17:30～

[再放送] 毎週金曜日 13:00～

[はみ出しコラム]

茨P連総会での言葉の中で、私の心に残ったものがあります。それは、笠間市長様の祝辞の中の言葉です。「PTAの不要論もあるが私は必要だと思っている。なぜか、PTA経験者が地域のコミュニティや各種団体などの次の担い手になっている。PTAが無くなったら誰が地域を支えるのか!？」とのお話でした。地域は人のつながりでできていることを再認識しました。<M.K>